

今年も  
対面とオンラインで!

2022  
子どもの未来をひらく

共同研究者・発表レポートを  
掲載した詳細チラシ

# みやぎ教育の つとめ

対面・オンライン併用での開催です!

子どもと、教育について、さまざまな立場から語り合う市民のつとめ

記念講演 14:40～16:30 [オンラインでの参加も可能です]

学校をジェンダー・セクシュアリティ平等な居場所に  
～いまこそ、多様性と人権を基盤に置いた教育実践を!～

(包括的性教育・ジェンダー性差別、性の多様性など、最先端の情勢について語っていただきます)

講師

堀川 修平 さん *Shuhei Horikawa*

埼玉大学非常勤講師

[プロフィール]

1990年北海道江別市生まれ。東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。専門分野は、日本の性教育実践と実践者の歴史、ジェンダー／セクシュアリティと教育史、性的マイノリティ運動における人間形成史。埼玉大学、立教大学ほか非常勤講師。一般社団法人「人間と性。教育研究協議会幹事。『季刊セクシュアリティ』編集委員、子どもを守る会「子ども白書」編集委員。

最近の著述

包括的性教育をはじめよう!—差別なき社会つくる主体を育てるために(子どものからだと心白書2019 29-31 2019年12月)

\*性の多様性を教えるべきか否か。を超えて(体育科教育 2019年8月号 34-37 2019年8月)

「気づく 立ちあがる 育てる—日本の性教育史におけるクィアペダゴジー」(エディブル研究所、2022)



とき 2022年

10/29 日

●テーマ別・教科別分科会 10:00～13:30  
●全体会・記念講演 14:30～16:30

ところ フォレスト仙台

〒981-0933 青葉区柏木一丁目2-45 (裏面地図参照)

対面参加  
参加費  
500円  
学生無料

必ず事前にお申し込み下さい

右のQRコードから申し込むか、下記に記入の上、FAX (022-273-1767) でお申し込み下さい。10/19 (水) 締切

氏名: 所属(学校)名

参加形態 1: 対面 / オンライン ⇒ (メールアドレス)

※オンライン参加の場合は必ず  
メールアドレスを記載して下さい。

参加形態 2: 講演のみ / 分科会のみ / 講演・分科会両方 ※いずれかを○で囲んで下さい

参加分科会名:

対面参加も必ず申し込みを!

連絡先電話番号:

■ 記載に不備があった場合、ご連絡をさせて頂く場合がありますので連絡先電話番号は必ずお書きください。 ■ QRコードが読みとれない場合のURL→<https://forms.gle/Bd3KVJYTHMf7hRnTA>

主催/2022子どもの未来をひらく みやぎ教育のつとめ実行委員会

共催/一般財団法人 宮城県教育会館

後援/宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・宮城県PTA連合会・宮城県高等学校PTA連合会・仙台市PTA協議会  
みやぎ生活協同組合・日本教育公務員弘済会宮城支部・毎日新聞仙台支局・朝日新聞仙台総局・読売新聞東北総局・河北新報社

NHK 仙台放送局・TBC 東北放送・仙台放送・ミヤギテレビ・kht 東日本放送・Date fm

事務局連絡先: 宮城高教組  
TEL 022-234-1335 FAX 022-273-1767

10:00

13:30

14:30

14:40

16:30

16:40

## 日程

テーマ別分科会  
教科別分科会昼食  
休憩

全体会

講演会

閉会

※感染予防対策として、昼食休憩は分科会会場ではとらず、各自で過ごす（ホールは開放）。

## 分科会（テーマ別） 10:00～13:30 フォレスト仙台（一部オンライン併用）

◆子どもたちに“生きる力”としての  
読書の喜びを ※対面のみ

子どもたちに“生きるチカラ”“調べるチカラ”を

- ・小・中・高・公共の図書館の現状
- ・「行きたくなる」魅力的な図書館って？
- ・地震に対して図書館はどう対応していくべきか？

責任者▶内海 正之（貞山小学校）  
共同研究者▶高梨 富佐（子ども読書プロジェクトみやぎ）

## ◆地域でつくる私たちの学校・教育 ※対面のみ

学校を支える地域の役割  
地域を支える学校の役割  
GIGA スクール構想が教育に与える影響

- ・学校統廃合問題
- ・GIGA スクール構想が日本の教育、日本社会をどう変えるか

責任者▶高橋 正行（高教組）  
共同研究者▶三谷 高史（仙台大学）

## ◆平和な未来と教育 ※対面・オンライン併用

子どもと平和についてどう語り合うか

- ・戦争の体験と記憶を知ること
- ・学校での取組みや実践

責任者▶鈴木 護（利府第三小学校）  
共同研究者▶草場 裕之（弁護士）

## ◆臨時教職員のしゃべり場 ※対面のみ

語ろう！そしてつながろう！

- ・悩みの相談
- ・全国の仲間とのつながり（全臨教報告）
- ・宮城の臨教運動（宮臨連の活動・教員採用）

責任者▶渋谷 信賢（ゆりが丘小学校）

## ◆不登校・いじめとどう向き合うか ※対面のみ

子どもの気持ちとどう向き合うか

- ・集団に入れない子どもをどう理解するか
- ・中学卒業後、高校中退後の社会とのつながりをどう支援するか
- ・いじめの背景と対策のあり方について

責任者▶日下 幸子（高森中学校）

## ◆幼年教育と保育そして学校教育 ※対面のみ

「子ども時代」を子どもらしく！

- ・保育の現場で見られる子どもの姿と育ちの要求
- ・学校での子どもの姿と小1ギャップ

責任者▶伊藤 慶（富谷小学校）  
共同研究者▶大宮 勇雄（元福島大学）



◆国語・作文教育

※対面のみ

言葉の力を高め「考える子ども」を育てる授業

- ・子どもたちが主体的に参加する授業をどのように創り上げるか

責任者▶千葉 政典(宮教組)  
共同研究者▶佐藤 正夫(元教員)

1

◆保健教育

※対面のみ

子どもとの関わりの中で学んだこと

- ・子どもの困りごとはどのような形で現れるか
- ・子どもの力となる周囲の関わりとは
- ・子どもの安心の土台となる養護教諭の関わりとは

責任者▶三瓶 香織(古川西中学校)  
共同研究者▶伊藤 優子(宮城学院女子大学)

6

◆外国語教育

※対面のみ・実践講座あり

小中高・・・英語の一貫教育

- ・中学校の新版教科書に対応した授業づくり。発音・語彙・文法・辞書の使いこなし、言語活動の土台となる読み取り等を探る。
- ・新共通テストとは？大学入試について、アンケート調査と自己採点結果を基にセンター試験と比較しながら探る。

責任者▶桑原 孝(塩竈第二中学校)  
共同研究者▶赤松 世(東北外国語教育研究サークル協議会)

2

◆体育教育

※対面・オンライン併用

楽しくて、うまくなって、力がつく体育

- ・楽しく取り組む中で、うまくなったり、できるようになったりする方法
- ・体育の授業で、友達との関わりや自分を見つめる学習を通して、子どもたちの成長を探る
- ・体育の授業で困っていることの情報交換

責任者▶中地 純(村田小学校)  
共同研究者▶佐藤 亮平(宮城教育大学)

7

◆社会科教育

※対面のみ

主権者を育てる社会科教育のあり方

- ・主権者意識をどう育てていくか
- ・主体的な学び合いを引き出す授業のあり方
- ・新学習指導要領をどう捉え、実践していくかの検討

責任者▶石井 宜(八木山中学校)  
共同研究者▶大平 聡(宮城学院女子大学)

3

◆障害児教育

※対面・オンライン併用

子どもの姿から教育を考えよう

- ・通常学級の中で困っている子どもたちの教育
- ・特別支援学級、特別支援学校などの子どもたちの教育
- ・障害の重い子どもたちの教育
- ・青年期の教育

責任者▶五十嵐淑子(根白石小学校)  
共同研究者▶菅井 裕行(宮城教育大学)

8

◆理科教育

※対面のみ・講座あり

興味を引き出し、理解を深める教材の工夫

- ・実験や観察などを通して理解を深める授業
  - ・理科的な視点の探究学習の実践交流
- ※講座では算数・数学の内容を取扱います

責任者▶佐々木泰子(小牛田農林高校)  
共同研究者▶渡辺 正芳(石巻専修大学)

4

◆生活・総合・環境教育

※対面のみ

生きる力を育む生活・総合学習

- ・接続可能な社会地域に向けての教育の役割
- ・自然の循環や社会とのつながりを実感する学び
- ・生活・総合で育つ、育てる力
- ・多様な人たちが集い多様な人たちで“創る”生活・総合学習
- ・コロナ禍の学校・子どもたちの現状

責任者▶小野寺 勝徳(鹿島台小学校)

9

◆美術教育

※対面・オンライン併用

子どもの表現に寄り添い、表現者を育てる  
美術教育を！

- ・子どもたちが楽しく表現することのできる題材について
- ・持ち寄った作品の鑑賞

責任者▶堀籠 拓(古川第三小学校)

5

◆生活指導と自治活動

※対面のみ

いろいろな子どもたちがいる教室と集団づくり

- ・スタンダードが求められる学校で、どのように子どもたちの思いに寄り添うことができるか
- ・子どもたちの人間的な成長・発達を保障するためにどのような見通しをもち、どのような実践を構想していけば良いのか

責任者▶村元 鈴(蒲町小学校)  
共同研究者▶高橋 達郎(みやぎ教育文化研究センター所長)

10

発表が予定される  
レポートの一覧は  
最終ページへ！



## 発表が予定されるレポート

分科会名	レポート名 / 発表者	
テーマ別分科会	子どもたちに“生きる力”としての読書の喜びを	・「学校司書さんのおかげで・・・」/内海 正之(貞山小)
	平和な未来と教育	・「沖縄に行って感じたこと～身近な平和について考えてみよう～」/近藤 彩香(宮教組)
	不登校・いじめとどう向き合うか	・「低年齢化する不登校の経験と必要なサポートについて」 /遠藤 さち子(親子の居場所 Clover 代表) ・「僕の不登校」/不登校を経験した高校生
	地域でつくる私たちの学校・教育	・「ネット配信授業」/豊永 敏久(宮城野高) ・「GIGA スクール」/久保 健(民主教育をすすめる宮城の会) ・「自衛隊個人情報」/武井 あおい(平和委員会)
	臨時教職員のしゃべり場	・「臨時教職員の声を要求につなげるために」/早坂 百合恵(吉成小) ・「全国臨時教職員交流集会」の報告/小形 奈美(西多賀支援) ・「宮城の臨時教職員運動」/渋谷 信賢(ゆりが丘小)
	幼年教育と保育そして学校教育	・「学校で大事にしたいこと」/清岡 佳江(西山小) ・「友だちと一緒に感じた実体験のおもしろさ～何度も行ったザリガニ釣りの実践から～」/渡邊 友美(岩切たんぼぼ保育園)
教科別分科会	国語・作文教育	・「書きたいことを書きたいだけ書くために」/千葉 早苗(鹿野小) ・「『海のいのち』の読みの実践」/亦楽同人会
	外国語教育	・「授業づくりのレシピ」/桑原 孝(塩竈二中) ・「新共通テストはどんなテストか～センター試験との違い～」/斎藤 典子(仙台東高)
	社会科教育	・「今の中学1年生はどのようなニュースに関心があり、どんな意見を持っているか」 ・「考えて、話し合っ、分かって楽しい中学1年生の歴史学習」/石井 宜(八木山中)
	理科教育	・「インパクトのある実験の紹介」/菅 憲史(仙台二華高) ・「興味・理解を深める手軽な実験」/佐々木 泰子(古川黎明高) －【ミニ講座】－ 「思い出す」から「思いつく」へ:生物科学科での数学の授業例を通して考える /渡辺 正芳(石巻専修大)
	美術教育	・「お話の絵『大工と鬼六』(小4)」/堀籠 拓(古川三小) ・「子どもの発想のたねづくり」/佐々木 伸(古川五小) ・「長～い紙から(水彩絵の具で)」/伊藤 なな子(伊里前小)
	保健教育	・「子どもの力となる養護教諭の関わりとは」/三瓶 香織(古川西中)
	体育教育	・「本音で話し合い、自分たちのルール作りへ～子どもたちをつなぐことを目指した小5 バスケットボール実践」/山口 紋佳(根白石小) ・「バレーボールの実践計画」/比嘉 晴野(袋原中) ・「バスケットボールの実践計画」/熊谷 拓海(七ヶ宿小) ・「マット運動の実践計画」/熊谷 並樹(東長町小)
	障害児教育	・「高等学園の教育～分校・分教室の現状」/高橋 昌弘(岩沼高等学園川崎キャンパス) ・「福祉型専攻科きおっちょらの実践」/佐久間 徹(全障研宮城支部) ・「他者と進んで関わる力を育む指導～生活単元学習の実践を通して～」 /山口 愛(根白石小) ・「中学校特別支援学級の現状と課題～進路指導について～」/大山あけみ(仙台二中)
	生活・総合学習と環境教育	・「地域のひと、もの、こととかかわる中で」/本川 良(大原小) ・「『総合学習』と『総合』教育－6年生の農業・食・家庭科の実践から－」 /小野寺 勝徳(鹿島台小)
	生活指導と自治活動	・「いろいろな子たちといっしょに」/村元 鈴(蒲町小)

※レポートが追加になった場合は、ホームページ等で随時お知らせします。